

北海道手をつなぐ育成会 げっぼう

第11回全国手をつなぐ育成会「権利擁護セミナーin札幌」終了報告

大切にしたい意思決定支援!

本人の暮らしを支える「福祉と成年後見」その課題、育成会の願い

10月27日(水)、全国手をつなぐ育成会連合会(全育連)が主催する標記のセミナーが、オンライン(Zoom)により全国・全道80ヶ所を結び、さらに札幌会場には、久保会長をはじめ、田中統括、又村事務局長、全国の役員の皆さんら35名が集合、ACU—A大研修室にて開催されました。



根直樹日本社会事業大学准教授、そして、全育連の「久保会長」をシンポジストに迎え、それぞれの立場から『成年後見制度と意思決定支援』について議論を深めました。



『成年後見制度』について、現時点における全育連のスタンスは、「国に対して抜本的な見直しを働きかけつつ、民法の改正には時間を要することから、その間は制度を使いやすくする働きかけを同時に進めていく。」というものです。

久保会長は「現在の私たちの関心ごととは高齢化と親なきあと。親や家族は自分がいなくなったら誰が本人の暮らしを温かく見守り、応援してくれるのか心配です。」と前置きし、次のように述べられています。

「成年後見制度」には5つの課題が

あります。

- ①現在の仕組みでは後見人が足りない。
- ②包括的な代理決定となってしまう。
- ③親族後見人に対する縛りが強い。
- ④後見人の交代ができない。
- ⑤後見人への報酬負担が重い。

制度として使いにくいいため、私達は国の関係する会議で、次のような意見を述べてきました。

- ・意思決定支援を含めた権利擁護の充実。
- ・身上保護の充実と意思決定支援の実現。
- ・専門家や家庭裁判所の関係者は障がい特性や障がい福祉を理解する。
- ・財産保全の現状を改め、破綻しない範囲で、本人の意向に沿ったお金の使い方を。
- ・後見人や後見監督人の報酬は、本人が負担できる金額と、専門職には妥当な報酬にし、その差額を公的に埋める議論。
- ・代行決定を最小限にする抜本的な法改正。

成年後見制度は本人に寄り添い、本人の権利を守り、暮らしを支えるための制度であり、知的に障害のある人にとっては必要な制度です。

しかし一方で、障がい者の権利条約第12条に反していると、変更を指摘されています。

障がいがあっても自分らしい暮らしをしたいという思いは変わりません。育成会として引き続き改善を訴えてまいります。

*全育連が本年まとめた「成年後見制度に関するアンケート調査(結果)」は道育成会のHPにUPしています。

「チーム空知」を合言葉に!

第6回実行委員会 大会終了報告を了承

10月23日、大会成功に多大なるご支援をいただいた空知地区育成会をはじめ、行政関係者、市内福祉団体の皆様、26名の参加のもと、標記の会議が実施され、決算及び、大会の成果と課題を確認し、実行委員会は解散しました。佐藤実行委員長のご挨拶(概要)を紹介します。



私たちはおよそ2年前から準備を開始しました。コロナの影響を受け、従来の集合型から、全道大会史上初めてとなるオンラインによる開催を決

意しました。それは、道育成会活動の柱をなす全道大会の2年連続となる中止を避け、60余年に及ぶ、これまでの積み上げを崩してはならないとの思いからでした。しかし、オンライン開催に舵を切ったのは、大会開催の5か月前、本年2月です。経験のない形での大会。準備の遅れは否めず、落ちの無いように努めたつもりでしたが、十分ではなかったと反省をしています。

大会が終了し、参加者アンケートや、私たちに届く声は、概ね「良かった」との評価。やはり、実施して良かったと感じています。岩見沢市においては35年ぶりに行われた全道大会。私たちは「オール空知」で臨みました。

責任を果たすことができ、ホッとしています。ご支援、ご協力に改めて感謝申し上げます。

「また、さんかしたい!」

(伊達わかば会 羽場和美さん)

北海道手をつなぐ育成会全道大会岩見沢大会のべんきょう会にさんかして、とってもよかったです。

記念演劇をみてとてもおもしろかったです。ヒヤッピりたいそうを見ていっしょに運動をしました。

たくさんの方がきて、とってもうれしかったです。

本人大会では、いろいろなしごこのことや、コロナのはなしをたくさん聞いて、とってもべんきょうになりました。

開会式の主催者あいさつはとってもよかったです。

シンポジウムを見れてよかったです。

たくさんのはなしや、ヒヤッピりたいそうや、記念演劇を見て、いろいろなべんきょうになって、とてもよかったです。

いっしょけんめい、受付をしました。

大会にさんかしてとてもよかったです。またさんかしたいです。



*「伊達わかば会」の皆さんは現地から20名ほどがZOOM参加。羽場さんはその際、受付を担当しました。

帯広大会「第1回 実行委員会」開催

「バトンを引き継ぎ」

決意新た!

本格的準備スタート

10月16日、帯広市保健福祉センターを会場に管内3校の特別支援学校の校長先生や、十勝振興局、市福祉課職員の皆様、そして育



成会の関係者等が一堂に会し、第67回全道大会帯広大会実行委員会が発足しました。

実行委員長に選出された帯広市手をつなぐ育成会畑中三岐子会長は「帯広市での開催は、20年ぶりとなります。また、来年こそ、2年ぶりとなる集合型での開催をめざします。大会は育成会活動の大きな柱。何としても、成功させたいと思います。」と決意を述べられました。(ご挨拶は、改めて新年1月号に掲載)

《期日》 令和4年8月6日(土)～8月7日(日)
《会場》 とかちプラザ・帯広市民文化ホール
《大会テーマ》

「小さな一歩・大きな前進・輝く未来」
《大会スローガン》

「仲間と手を取り合い 共に進もう、
農業王国 とかち 帯広から」

コロナなんかには負けないぞ!

道内各地の育成会、果敢にチャレンジ

オンライン料理教室(焼きそば)

当初、新型コロナウイルスのことも鑑み、密を避け、屋外で集合型の料理教室を実施しようと考えておりました。ですが、市内に発生したクラスタや、緊急事態宣言などが続き、なかなか案内も出せずにいました。「延期」や「休止」もやむを得ないと考え始めていた時でした。改めて「コロナ禍でもできるにはどうしたらいいのか?」と話し合った結果、オンラインによるリモートが良いのではないかと結論に至りました。当会では「オンライン」による行事は初めての経験です。まずは、みんなが使いやすい『LINEによるビデオ通話』を活用する事にしました。

10月17日(日)、主催する側も、参加者も、不安と期待が入り混じる中、教室は進行し、無事に終わることができました。参加してくれた障害がある当事者の皆さんも、自宅の使い慣れたキッチンで、画面を見ながら調理の勉強ができ、楽しく、作ることができました。(参加者の皆さんから、☆5つをもらうことができました)

当事者をお手伝いいただいたご家族の皆さんも、LINEの勉強や家族とのコミュニケーションが深まったと、大好評でした。もちろん、運営側も、今回はとても勉強になりました。

《教室の進め方》



- ① 準備した食材を各自に来ていただき、引き渡す。
- ② 携帯カメラに向かって。「料理教室」スタンバイ。
- ③ 参加者は、自宅の台所から教室に参加。
- ④ 調理の様子を携帯カメラでライブ配信。
- ⑤ ⑥ 出来上がり。完成です!

(網走市手をつなぐ育成会 福田 美紀)

「活性化対策委員会」一年半ぶりの開催

10月11日(月)、「オンライン(ハイブリット方式)」による標記会議が開催されました。今年度より新委員となった高橋さん(檜山)、白鳥さん(オホーツク)、大関さん(日高)からは「育成会活動の活性化に貢献したい。」と決意が述べられました。

話し合いは、コロナ禍の中、確かに経験したことのない困難な状況ではあるものの、各地に工夫した取り組みも生まれており、互いに情報を交流しながら一歩を踏み出そう。特に『今年度、集中して取り組む3課題』を踏まえ、「いくせいかいカレンダー2022」を活用し、地域に育成会の活動を届け、困っていることで育成会のお手伝いが可能なものについては、大いにお応えしていこうと提起されました。

また、適正な「会費額」や、役員体制を含む組織体制等、本会の中・長期的な課題についても熱心に議論がなされました。

札幌市育成会のYouTubeチャンネルにて、2022カレンダー作品をご覧いただけます。

(※道育成会HPに掲載のURLからアクセスを)

12月の予定

- 5日(日) 第1回 ピアカウンセリング研修会
- 第67回 全道大会帯広大会
- 本人大会 第1回実行委員会
- 6日(月) 第4回 理事会

知的障がい・発達障がい、ダウン症、てんかんのある方、ご家族に

病氣やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ

ぜんちの
あんしん保険
少額短期健康組合保険(特約型) 2019年創設

特別支援教育を必要とされている方へ

ぜんちの
こども傷害保険
権利継連補償付傷害保険 2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、弁護士がサポート

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

ぜんち共済株式会社
関東財務局長(少額短期保険)第14号
〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

0120-322-150
平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)
URL: <http://www.z-kyosai.com/>

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。
【2020年1月作成 19-T06633】

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン
〒060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

弁護士が全面的にサポート

知的障がい児者・自閉症児者の
生サポは **家族の安心を支えます**

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病氣やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…
全国で約145,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

- 日常生活に関する相談支援
- 就労に関する相談支援
- 権利擁護に関する相談支援

の3事業を実施しています。

主な補償内容

<p>病氣やケガで入院したとき 入院給付金</p>	<p>賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金</p>
<p>ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術・各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)</p>	<p>虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 <small>※プランによって補償します</small></p>
<p>病氣で死亡したとき 疾病葬祭費用保険金</p>	<p>就労中に他人にケガをさせたり 物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 <small>※プランによって補償します</small></p>

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

AIG損保の普通傷害保険
生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー 北海道支店
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102
レジディア大通公園2F
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社
AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F
TEL: 011-204-7510
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かねる2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2020年12月現在の内容です。(D-004961 2022-03)

★会員事業所紹介★

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所連絡協議会の目的です。

私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。

体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。

あなたの事業所の入会を待っています。

**北海道手をつなぐ育成会
通所事業所連絡協議会**

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かねる2・7(4F)
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

特定非営利活動法人 つむぎの家

〒073-0135 砂川市東5条南4丁目2番12号 砂川市自立支援センター内
電話/FAX (0125)52-6044
E-mail: tumuginoie@sepia.plala.or.jp

★就労継続支援 B型事業所

- ☆砂川市つむぎの家 主たる事業所…定員17名
- ☆砂川市つむぎの家 従たる事業所…定員13名

★主な作業

- ☆リサイクル作業(古紙分別整理、回収等)
- ☆委託作業(お菓子箱詰、除草・除雪、アルパカのゴミ取り作業等)
- ☆織物・織物加工、マスコット作り
- ☆洗車場管理
- ☆羊毛のゴミ取り作業

利用者が笑顔で作業できることを大切に活動しています!



手をつなぐ育成会げっぽう12月号 | 4